旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２２年２月２０日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖　歌　４０３　「　栄　の　冠　を　」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	聖歌642「望みも消えゆくまでに」	一　同
教会学校	絵　本　「　親　切　な　友　だ　ち　」	牧　師
讃　　美	聖　歌　４０２　「　丘　に　立　て　る　」	一　同
聖書朗読	ヨブ記2:1-6	
奨　　励	ヨブ記の福音(第2回)	牧　師
主　　題	**「不条理な苦難の中で」**	
讃　　美	聖歌432「けがれとはじとの」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖　歌　３７８　「　さ　か　え　あ　れ　や　」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**黙示録第 21 章**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
２/20(日)聖日礼拝
/21(月)
/22(火)
/23(水)天皇誕生日
/24(木)10:00祈り会
/25(金)
/26(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「主ともにいませば」

村田ハツエ(鹿屋・星塚敬愛園教会)1971年週報「恵生」より

「見よ、わたしはあなたを練った。しかし銀のようにではなくて、苦しみの炉をもってあなたを試みた」(イザヤ48章10節)

私は昭和40年11月1日、血圧で突然倒れました。その日の夕方、今にして考えますと、前触れだったと思います。夕食をすませて、後片付けをしておりますと、右手に力がなく、足がぶらつき、変だな、とは感じましたが、まさか倒れるなどとは思いませんでした。

…そして、気がついたのが翌日の午前十時半頃だったと思います。お医者さんが来られて「気がつきましたか」と言われるお声を聞き、そのとき私自身、生きているんだな、と思いました。実に奇跡でした。お医者さんでさえ不思議がっておられました。

…そうこうして、私は心の中で祈りました。主よ、愚かな私より御顔を離し給うなかれ、されど主の御旨のままに、死ぬるも主のため、生くるもまた主のため、と讃美歌にありますように祈りました。お祈りの後、主のお守りの中に安らかにしばらく眠らせていただきました。そして目覚めてはまた眠りましたが、その時、それはそれは筆に書き表すことさえできない夢を見ました。厳粛な夢でした。そこには青く澄み切った大空、そしてまた林もありました。そこに物静かな面持ちで、髪を三つ組みに編んだ、口ではとうてい言い表すことの出来ない神々しいお方がじっと私を見守っておられました。そこには親しい友もおりました。

目が覚めて私は詩篇121篇**「汝を守る者はまどろみ給うことなし」**という御言を思って涙が溢れました。本当に神様は私のような罪深い者をも見捨て給うことなく、ご恩恵の中に生かして下さるこの尊さ、たびたび感涙いたすのみでございます。

しばらくは歩くことも困難でしたが、今ではすっかり歩けるようになりました。**「汝の罪赦されたり、床をとりて歩め」**(マルコ2:8)の御言は、私の場合、苦しさも癒やされて生かされているこの喜びを与えてくれた御言です。

…神様は大きな手を広げて優しく**「私のもとに来なさい。重荷を負うて従いなさい」**と仰せられていらっしゃるのに、私は不平不満ばかりです。罪深さを今さらに、御前にひれ伏し、お赦し下さる主を仰ぎつつ、私はあの苦しかった経験を通して、十字架の上のイエス様を見上げ、先生方や兄弟姉妹のお導きを感謝しつつ、残された生涯を、どんな苦しみや悲しみにも耐え忍んで参りたいと思います。主が共にいまし給うことを信じて…

「私は安らかに伏し、また眠ります。主よ、私を安らかにおらせて下さるのは、ただあなただけです」(詩篇4:8)